

コープ共済プラザ 第7回サステナブル建築賞 審査委員会奨励賞を受賞

コープ共済連（日本コープ共済生活協同組合連合会 代表理事理事長・佐藤利昭（さとう としあき））の本部事務所であるコープ共済プラザが、一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構が主催する第7回サステナブル建築賞の審査委員会奨励賞（大規模建築部門）を受賞しました。

【コープ共済プラザの壁面緑化（2018年1月の様子）】



1. サステナブル建築賞とは

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構が、サステナビリティに優れた建築物の一層の普及を図ることを目的として、国土交通省の後援、関係団体の協賛を得て主催しています。

この顕彰は、環境の価値を重視し、居住環境の豊かさを維持しながら、省エネルギーと環境負荷低減により、サステナブル社会の実現に貢献する優れた建築物の一層の普及を図るために、隔年で実施されています。

コープ共済プラザは、「都市化の進展した中に建てられる建物は、省エネルギー化が図れたとしても、再生可能エネルギーの活用や、その建物の存在自体が都市緑化を促進することはなかなか難しいものだが、コープ共済プラザでは、それらの点を克服して、都市の中に建つ建築の在り方に一石を投じる提案となっている」点を授賞理由として評価されました。

（詳しい受賞作品はコチラ） → <http://www.ibec.or.jp/hyosyou/building/7th/index.html>

2. コープ共済プラザの概要

コープ共済連は、2015年5月、地震被害を軽減する安全機能をもち、環境性能にも優れた先進的なオフィス「コープ共済プラザ」に新浦安から本部を移転しました。



コープ共済プラザは、環境への配慮と高い事業継続性の確保を目的に設計されています。壁面緑化によるグリーンブラインドを採用した「ベジテーションファサード」は、植物による日射遮断や気化冷却効果を図る機能的な効果に加え、植物に様々な樹種を組み合わせ、春から秋にかけて沢山の花を楽しむことができる視覚的な効果も期待できます。また、明治神宮からそよぐ自然の風を取り入れることも計算されており、建物周囲を涼しくするクールスポット効果も期待できます。

他にも、建物そのものが空調要素となり安定した熱温環境を形成する「天井スラブ放射・床染出併用空調システム」、デスク周り天井を同時に照らし、快適性と省エネ性を両立する「タスク&アンビエント照明システム」、再生可能エネルギーを活用し、災害時に耐え、日常の省エネを実現する「再生可能エネルギー利用熱源システム」など、環境に配慮し、多くの技術と工夫を導入して設計された建物です。

コープ共済連は、今後とも「自立した市民の協同の力で、人間らしい暮らしを創造し、持続可能な社会を実現する」という21世紀の生協の理念に基づいて、環境問題を生協運動の根源的課題として位置づけ、率先して取り組みを進めてまいります。

名 称 : コープ共済プラザ
所在地 : 東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目1番13号
建 築 主 : 日本生活協同組合連合会
設計・監理 : 株式会社 日建設計
施 工 : 株式会社 フジタ
株式会社 前川製作所
株式会社 きんでん
規 模 : 敷地面積 1,556.80 m²
建築面積 1,216.15 m²
延べ床面積 8,652.86 m²
階 数 : 地下2階 地上8階 塔屋1階
竣 工 : 2015年4月



お問い合わせ先

日本コープ共済生活協同組合連合会

渉外・広報部 (担当 南波・滝山)

TEL : 03-6836-1320 / FAX : 03-6836-1321 (平日 10時~17時 土日除く)

e-mail : kyosaiinfo@coopkyosai.coop